



分科会 6 薬剤師の生涯学習元年—更なる自己研鑽へ JPALS

10月7日(日) 15:00～17:30 第8会場(オークラアクトシティホテル浜松 3F チェルシー I)

W-06-02

JPALS の今後の方向性について

かみむら なおき
上村 直樹

日本薬剤師会生涯学習委員会

平成 24 年 4 月からスタートした JPALS は、学習記録簿であるポートフォリオを中心とした生涯学習支援システムである。プロフェッショナルスタンダードは薬剤師の学習の指標としてだけでなく、ポートフォリオへの記録と CPD 実践のための補助ツールでもある。またクリニカルラダーはモチベーションをアップさせ、継続するためのツールとすることができる。既に JPALS に登録されて生涯学習を始められた方にとっては、JPALS が CPD に沿ったシステムになっていることも実感されたことと思う。そこで JPALS の今後の方向性について考えてみたい。

1. WEB テストの方法等について

レベル 1 → レベル 2 に昇格するためにはポートフォリオ 6 本以上の提出と WEB テストに合格することが条件である。平成 25 年 3 月 16 日から 4 月 15 日の 1 ヶ月間にその WEB テストが実施される。その WEB テストの方法や問題などを模擬 WEB テストとして紹介する予定である。

2. クリニカルラダーレベル 6 以上はどうなるのか？

過渡的認定を受けた方は既にクリニカルラダーレベル 5 として生涯学習を進めている。今後レベル 6 以上に昇格するための条件がレベル 5 までの条件とどのように異なるのか説明する。

3. クリニカルラダーレベルの社会的効果について

クリニカルラダーレベルは薬剤師の能力をランク付けしているのではない。レベル 1 は決して恥ずかしいことではなく、自分が生涯学習を始めている証であるため、堂々と公開して欲しい。例えば履歴書などにも記載して自己アピールに利用するのも一つの方法である。そのようにすることによって、社会もクリニカルラダーを利用することになるであろう。会社にとっては、就職や採用での評価や賞与査定の評価に利用することは十分に考えられる。また、他の学会などの認定制度や専門薬剤師制度などの条件に利用されることも考えられる。

システムができると社会も変わる。JPALS が薬剤師免許の更新制度のない我が国にとって、国民から信頼される薬剤師となるためになくてはならないシステムとなるように、日本の薬剤師全員で育てていくことが重要である。